

## カナダの金融市場動向 Weekly Report

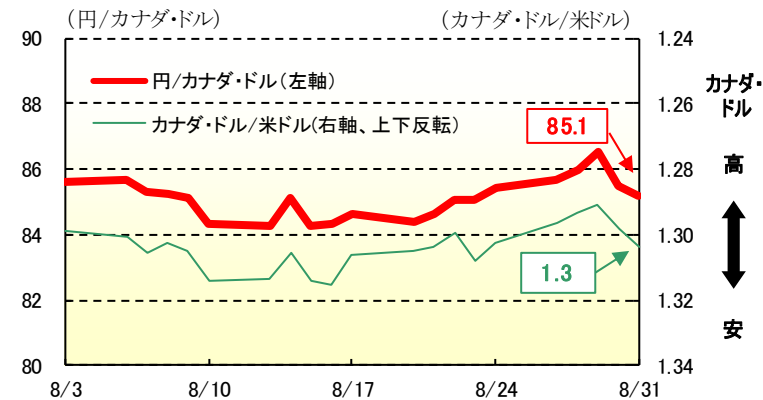
【2018年8月25日～2018年8月31日の推移】

### 【1】先週の回顧

先週のカナダ・ドルは対円・対米ドルともに下落しました。カナダ5年国債利回りは低下しました。

週前半は、米国とメキシコの間での貿易協定が大筋合意したとの発表を受けて、カナダと米国との交渉も進展すると期待感からカナダ・ドルは上昇し、国債利回りは上昇しました。しかし週後半は、貿易交渉の進展への期待感がはく落したことや、発表された4-6月期のGDP(国内総生産)が市場予想を下回ったこと、またトルコやアルゼンチン等の金融不安によるリスク回避的な動きなどを背景に、カナダ・ドルは下落し、金利は低下しました。

【カナダ・ドル 為替推移】 (2018年8月3日～2018年8月31日)



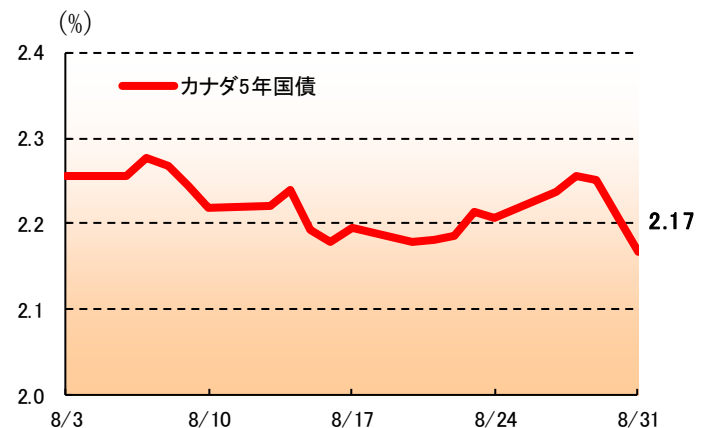
※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。  
(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

### 【2】今週の見通し

今週は、カナダ銀行(中央銀行)の政策発表が予定されています。先週の4-6月期のGDPの結果を受けて、市場の利上げ期待は後退し、政策金利据え置き予想が大勢となっています。

先週の米国とカナダとのNAFTA(北米自由貿易協定)再交渉は合意に至りませんでした。今週5日(現地)に再協議が予定されています。トランプ米大統領は、カナダに対する強硬姿勢は崩しておらず、先行きは不透明です。また、トランプ大統領が3回目の対中追加関税発動を発表すると警戒感も拭えません。引き続き通商問題に注目が集まります。

【カナダ 金利推移】 (2018年8月3日～2018年8月31日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>